

岩情政第 164 号
令和7年11月27日

総務大臣 林 芳正 殿

岩見沢市長 松野 哲

事後評価報告書（再評価）

無線システム普及支援事業等補助金交付要綱補足事項の規定に基づき、下記のとおり報告します。

記

1. 事業概要

- (1) 工事完了日 : 令和3年3月22日
(2) サービス開始日 : 令和3年4月20日

2. 目標達成状況（累計）

指 標	目標 (目標年度)	(実績値/目標値)				
		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度 9月末時点
地域 BWA サービス 加入世帯数	69世帯 (令和6年度)	24/69	10/69	10/69	7/69	7/69

(参考)

提供可能回線 (光ファイバ芯数)	利用回線数（地域BWAへの接続芯数）				
	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度 9月末時点
4	4	4	4	4	4

※本事業において、地域 BWA 基地局2局の運用に必要な光ファイバを整備したものであるが、地域 BWA 基地局1局につき4芯1テープ（うち、現用回線として1芯、保守用として1芯で運用）の光ファイバが必要となることから、上記利用回線数は現用回線及び保守用回線として使用している芯数を記載している。

3. 中間評価を踏まえて実施した取組

令和 7 年 9 月 現在の契約者のニーズ把握、新規販路開拓のため、アンケートを実施。

4. 評価

【地域 BWA サービス加入世帯数】

・FWA サービスの利用者については、地域 BWA サービスへ移行が完了し、令和 3 年度末には新規ユーザーも含めてサービス加入世帯は 24 世帯となった。以降、地域 BWA サービスの周知・販促活動等を継続して実施しているが、令和 4 年度に FTTH 整備エリアが拡大したことにより、家庭向けインターネット接続サービスについてはユーザー獲得における競合が生じてしまい、令和 4 年度末のサービス加入世帯は 10 世帯に減少した。令和 5 年度も横ばいの状況、令和 6 年度以降は 7 世帯に減少しており、目標達成には至っていない。中間評価及び令和 7 年 9 月に実施したアンケート結果を踏まえ、FTTH との速度・安定性競争では対抗できないことから、FTTH への乗り換えを検討しているユーザーの不満点について技術的な改善で対処し、解約を最小限に抑えるほか、地域 BWA の強みである屋外利用が可能な点やデータ通信料が使い放題（他の民間サービスで設けられているようなデータ通信量超過による通信速度制限を設定していない）な点、整備コストが低く導入が容易で整備期間が短い点を活かし、農業・防災分野などの公共・産業用途の利用拡大、新プランの検討を行うことで民間サービスとの差別化を図り、具体的なユースケースの周知・啓発によりユーザー獲得の取組みを継続していく。また、地域 BWA サービスは単なるインターネット接続サービスではなく、地域課題の解決に資する通信基盤としての役割をより発揮し、FTTH とは異なる特性を活かしながら、デジタル・ディバイドの解消や地域の活性化に寄与する持続可能なサービスに向けた検討を継続していく。